



# こころ

芳賀町立芳賀東小学校



No.12 令和7年1月9日

## 一年の計は元旦にあり

さて、昨日8日は家族で楽しくお正月を過ごしたことや、普段できないことに挑戦した思い出を胸いっぱい秘め、一回り大きくなった子供たちと再会しました。始業式では、「一年の計は元旦にあり」について話をしました。この言葉は、「新しい年を迎えて、自分がこうなりたいという夢や願いをもつことは有意義であるとともに、そのためには、夢や願いの実現に向けて、最初にきちんとした計画や準備が必要である。」ということの意味しています。いつ、どこで、どんなことを、どのように取り組んでいくのかという計画を立てているときには、もちろん様々な不安はありますが、楽しみとして感じることもたくさんあるはず。同時にまた、気持ちの持ち方によっては、すぐにでも実現しそうな気がしてくることもあるかと思えます。

しかし、実際には、「夢」や「願い」を実現していくためには、計画に沿って一つひとつ着実に実行していく努力が必要であることは言うまでもありません。そしてまた、努力しながら実行していくことが必ずしもうまくいくとも限らず、なかなか思うようにできない、計画通りには進まないということもあるかも知れません。そのうち最初の頃の意欲が萎えて、結果的には計画倒れに終わりがねないということもあるはず。そうした苦労や困難を乗り越えて「実行」されることで、計画は「実現」に繋がります。まずは、計画に沿って、実行し続ける決意と覚悟が大切だと考えます。自分が夢中になれることややりたいことを、自分の「夢」や「願い」としてもち、「なりたいたい自分」として思い描き、その姿に向かって何回でもチャレンジしながら、努力を続けていく姿こそ大切なのだと思います。

本校の子どもたちが、新年を迎えるにあたり、これからも自分の「夢」や「願い」をもち、その実現に向かって努力することを楽しみにしています。そのためにも、私たち大人が子供たちの育ちをしっかりと支えることが必要です。本年もまた、保護者・地域の皆様方のご理解とご協力、そして温かいご支援をいただきながら、教職員一同、子どもたちのために日々最善を尽くしてまいります。



### 今年は巳年、へび年

今年は巳年、子供たちに聞いてみますと、へびを好きという子は少ないです。私も巳年生まれですが、大の苦手です。そんなあまり好かれていないへびですが、どうして干支にへび年があるんだろう、どうしてへびなんだろうと疑問に思い調べてみると、「『巳』は種子の殻を突き破り、芽を出す状態」を意味するそうです。「草木の成長が極限に達して次の生命がつくられ始める時期」であり、これを『へび』にあてたということです。脱皮をしさらに成長する姿やその生命力の強さから、「再生」「復活」「長寿」を象徴し、縁起がいい生き物とされることもあります。巳年はそんなへびのイメージから「新しいことが始まる年」とになると言われています。子供たちがめあてをもってぐんぐん伸びていく、一つずつ脱皮し大きくなっていく、そんな新しい年になるよう願っています。



### お願い

以前お願いしました登校時刻についてですが、7時45分頃学校に到着するようお願いいたします。早い時刻での登校は、安全面の確保が難しいのでお控えください。また、寒い日が続きます。ポケットに手を入れて歩くことがないように手袋を着用するようお声かけください。